Museu Nacional de Etnologia

について
国立民族学博物館（Museu Nacional de Etnologia）
国立民族学博物館は、1959年にジョルジェ・ディアスが展覧会の開催用に集めた品々がもとになっています。ディアスは、ポルトガル植民地の少数民族研究ミッションの一環として行われた「マコンデ族の生活と芸術」という展覧会の実施責任者でした。

この博物館は、1965年にポルトガル植民地民族学博物館の名で正式に設立されました。1974年に民族学博物館と改名され、翌年にはこの博物館用に建設された現在の建物に移転しました。財政難により一般への公開が一時中止されましたが、その後も研究チームによる研究・維持は引き続き行われていました。1985年に再度一般に公開されるようになり、1989年に国立博物館となりました。

約30,000点におよぶ所蔵品の中で、体系的に収集されてきた農具類が特に貴重なものです。常設展示のセクションはなく、期間を限定して複数のテーマに沿った展示を行っています。これまで行われた展示には、人類科学の一般的な分野をカバーしたもの（「人類と文化」など）をはじめ、現代と直接的に深く関わっているテーマや、ポルトガル特有の音楽様式であるファドなど特定のテーマを取り上げたものがあります。

問い合わせ先

Av. Ilha da Madeira 1400-203 Lisboa

电话：	+351 21 304 11 60
ファックス：	+351 21 301 39 94
Eメール:	mnetnologia@ipmuseus.pt
ウェブサイト：	http://www.mnetnologia-ipmuseus.pt

特色とサービス
ショップ
ガイドツアー
カフェテリア

その他の情報
各種催し物の詳細については、イベントカレンダー（文化欄）をご参照ください。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com